

一三

勅授

丙
三
三

立案 昭和七年四月十日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故從四位勳三等
任階進陞，伴
三浦孫五郎

昭和七年四月十日
臺帳記入 四月十一日官報報告済

宮内省

裏面白紙

89



故從四位勲三等三浦彌五郎位階追陞ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十六年四月九日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



内閣

外任第三號

起

昭和十七年四月九日

裁可

昭和十七年四月九日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故從四位勲三等三浦彌五郎ハ別紙外務大臣
稟申ノ通功績顯著ナル者ニ候處本月四日
死去ノ趣ニ付特旨ヲ以テ左ノ通位階追陞ノ
件上奏相成然ルヘシ

内

閣

故從四位勲三等三浦彌五郎

特旨ヲ以テ位一級追陞セラル

從四位勲三等三浦彌五郎

叙正四位

四月四日付

外任
シニ
シ

從四位勳三等三浦彌五郎儀別記ノ通功績有之候處本月四日卒去致
候ニ就テハ此際右功勞ヲ御表彰被遊特ニ生前ノ日附ヲ以テ頭書ノ
通位階追賜被仰出候様仕度此段謹テ奏ス

昭和十六年四月八日

臨時外務大臣事務管理
内閣總理大臣 公爵近衛

文



外務省

裏面白紙

102

敘正四位

從四位勳三等 三浦彌五郎

右者明治三十年五月二十一日任外交官補以來公使館三等書記官、領事、京城理事廳理事官、兼統監府書記官、公使館一等書記官、大使館一等書記官ニ歷任シ伯刺西爾國、和蘭國、馬山、瑞典國、佛國ニ在勤シ精勵恪勤ク職務ニ盡シ大正二年十一月四日大使館參事官ニ任セラレ米國在勤被仰付大正五年五月五日特命全權公使ニ任セラレ瑞西國駐劄被仰付大正八年五月五日瑞西國駐劄被免大正十年七月二十二日依願本官ヲ免セラレタルモノナル處其大使館參事官トシテ米國在勤中ハ駐米帝國大使ヲ輔佐シテ日米親善上多

大ノ力ヲ致シ又特命全權公使トシテ瑞西國駐劄中ハ任國政府ニ對シ國交増進上最モ意ヲ須ヒ日本及瑞西兩國輯睦上一段ノ進展ヲ見ルニ至ラシメタリ殊ニ當時歐洲大戰中ニシテ中立國タル瑞西ノ地位ハ頗ル重要ナルモノアリタルニ際シ同人ハ此間ニ處シテ機宜ヲ謬ラス且常ニ周到ナル注意ヲ以テ適確ナル各般ノ情報ヲ寄セ當路ノ畫策ニ資セル所甚大ナルモノアリ又大正八年九月講和條約實施準備ノ爲メ歐洲各國へ出張ヲ命セラレ次テ大正九年一月平和條約實施委員仰付ラルルヤ此間ヲ通シ同盟及聯合國委員ノ間ニ伍シテ大戰收拾ニ關スル複雑困難ナル要務ヲ處理シ遺憾ナカラシメタル等多年我外交施策上ニ貢獻セル功績顯著ナリ

裏面白紙

履 歴 書

本籍地 東京市本郷區森川町一番地

三浦彌五郎
明治五年一月十六日生

明治三十年五月二十一日	任外交官補	内	閣
同	敘高等官七等	外	務省
同	伯刺西爾國在勤ヲ命ス	外	務省
明治三十年八月二十日	日敘從七位	宮	内務省
明治三十一年十月十一日	日任公使館三等書記官	内	閣
同	敘高等官七等	内	閣
同	賜五級俸	外	務省
同	伯刺西爾國在勤ヲ命ス	同	同
明治三十二年三月三十一日	賜四級俸	同	同
明治三十二年十一月六日	和蘭國在勤ヲ命ス	同	同
明治三十四年三月三十一日	陞敘高等官六等	同	同

明治三十八年 四月二十日	明治三十六年 十二月八日	同	明治三十五年 十二月二十八日	同	同	同	明治三十五年 十月二十九日	同	同	明治三十四年 十二月十一日	明治三十四年 七月十日	同
陞叙高等官五等	賜二級俸	功ニ依リ勳六等單光旭日章ヲ授ケ賜フ	叙勳六等授單光旭日章	馬山在勤ヲ命ス	賜三級俸	叙高等官六等	任領事	待命中本俸全額ヲ賜フ	スルコトヲ命ス	待命中臨時外務省ノ事務ニ從事ス	和蘭國在勤ヲ免ス	賜三級俸
外務省	外務省		賞勳局		外務省		内閣	同	同	外務省	宮内省	外務省

裏面白紙

同	明治三十八年	六月三十日	賜三級俸	外務省
同	明治三十八年	六月三十日	叙從六位	官
同	明治三十九年	四月一日	叙勳五等授雙光旭日章	賞勳局
同	明治三十九年	一月三十一日	授勳五等雙光旭日章及金八百圓ヲ	賞勳局
同	明治三十九年	一月三十一日	任京城理事廳理事官兼統監府書記官	統監府
同	同	同	叙高等官五等	統監府
同	同	同	一級俸下賜	統監府
同	明治四十年	五月一日	叙高等官四等	統監府
同	明治四十年	七月十日	二級俸下賜	統監府
同	明治四十年	七月十日	叙正六位	宮内省
同	明治四十一年	十二月二十五日	一級俸下賜	統監府
同	明治四十二年	七月十九日	叙高等官三等	統監府
同	同	同	二級俸下賜	統監府

裏面白紙

107

大正二年十二月二十日	同	同	同	大正二年十一月四日	同	同	同	同	明治四十五年四月三十日	明治四十四年八月二十四日	同	同	同	明治四十三年九月三十日	明治四十二年十月二十日
叙正五位	賜三級俸	米國在勤被仰付	敘高等官二等	任大使館參事官	佛國在勤ヲ命ス	賜一級俸	敘高等官三等	敘一級俸	任大使館一等書記官	敘勳四等授旭日小綬章	瑞典國在勤ヲ命ス	賜一級俸	敘高等官三等	任公使館一等書記官	叙從五位
宮内省	外務省	内務省	内務省	内務省	同	外務省	内務省	同	内務省	賞勳局	同	外務省	同	内務省	宮内省

裏面白紙

大正五年五月五日	日任特命全權公使	内	閣
同	叙高等官二等		
大正五年五月五日	日瑞西國駐劄被仰付	内	閣
大正五年四月一日	日叙勳三等瑞寶章	賞勳局	
大正五年十月二日	日特派使節トシテ羅馬法王廳へ被内差遣	内	閣
大正六年十二月二十四日	日賜二級俸	外務省	
大正七年六月二十九日	日陞叙高等官一等	内	閣
同	賜二級俸		
大正七年七月三十一日	日叙從四位	宮内省	
大正八年五月五日	日瑞西國駐劄被免	内務省	
	臨時外務省ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス	外務省	
	侍命中本俸全額ヲ賜フ		

裏面白紙

109

大正十 年七月二十二日	大正十 年六月三十日	大正十 年五月十一日	大正九 年十二月十六日	大正九 年十一月一日	大正九 年十一月十日	大正八 年九月三日
依願免本官	賜一級俸	平和條約實施委員被免	大正三年勅令第二百二號第一項外 ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス 待命中本俸全額ヲ賜フ	授旭日中綬章	授旭日中綬章	講和條約實施準備事務ノ爲メ歐外 洲各國へ出張ヲ命ス
内務省	外務省	内務省	外務省	賞勳局	内務省	外務省

裏面白紙

秘

人祕第三四七號

昭和十六年四月八日

主任者、人事課、笠原

臨時外務大臣事務管理
内閣總理大臣 公爵近衛 文



内閣總理大臣 公爵近衛 文 磨 殿

三浦彌五郎位階追賜ノ件

從四位勳三等三浦彌五郎位階追賜ノ儀別紙ノ通上奏致候間至急可
然御取計相成度此段申進候也

追テ本人ハ大正十年七月二十二日高等官在職滿十年以上ニシテ

外務省

秘

人祕第三四七號

昭和十六年四月八日

臨時外務大臣事務管理
内閣總理大臣 公爵近衛

文



内閣總理大臣 公爵近衛 文 磨 殿

三浦瀧五郎位階追賜ノ件

從四位勳三等三浦瀧五郎位階追賜ノ儀別紙ノ通上奏致候間至急可
然御取計相成度此段申進候也

追テ本人ハ大正十年七月二十二日高等官在職滿十年以上ニシテ

外務省

(日本標準規格B5)

裏面白紙

退官シタルモノナルモ當時敍位進階内則第四條ニ據ル恩典ニ浴
シ居ラサルモノニ付右御舍相成度此段申添候

外
務
省

(日本標準規格B5)

112

裏
面
白
紙

裏面白紙

丙 第 三 四 二 號

一 故 後 四 位 重 三 等 三 浦 彌 五 郎

右 特 旨 ヲ 以 テ 敍 位 相 成 候 ニ 付 位 記 竝 辭 令 及 回 送 候 條 傳 達 方 御 取 計 有 之 度 候 也

昭 和 十 六 年 四 月 十 二 日

宗 秩 寮 總 裁 子 爵 武 者 小 路 公 共

外 務 大 臣 松 岡 洋 右 殿

宮 内 省

二 號 昇 紙

113